



9月1日は防災の日 みんなで防災訓練へ！

～“いざ”に備える、知識と行動～

防災課

我が国では、毎年のように地震、台風、大雨等の自然災害が発生し、各地で多くの被害が出ています。

本年4月に発生した熊本地震では、死者81名、負傷者1,816名に加え、住家被害も16万棟を超える甚大な被害となりました（平成28年7月19日現在）。また、近い将来には、首都直下地震や南海トラフ巨大地震の発生の切迫性も指摘されています。

さらに近年では、局地的大雨、土砂災害、河川氾濫、また火山噴火等による被害も多発しております。

平成26年8月に広島県で発生した大規模な土砂災害では死者が77名となり、平成27年9月に関東、東北地方を始め広範囲で被害をもたらした関東・東北豪雨では死者8名という被害が発生しました。また、平成27年5月に発生した口永良部島の噴火では幸いにも死者は生じなかったものの、平成26年9月に長野県御嶽山で発生した火山災害では死者58名、行方不明者5名の被害が生じました。

自然災害に対し、被害を最小限に抑えるためには、国民一人ひとりが正しい知識を身に付け、いざというときに落ち着いて的確な対処行動をとることが重要となります。災害に対する備えは日ごろの防災意識や防災訓練の体験によって培われますので、そのためにも、各地方公共団体、企業、地域コミュニティ等で行われる防災訓練に積極的に参加することが望まれます。

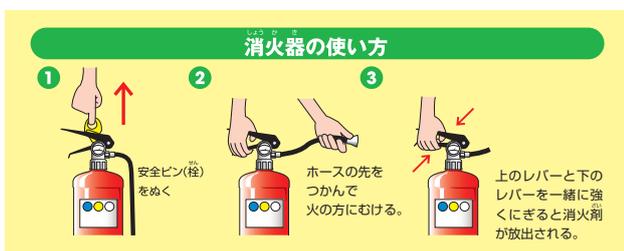
防災訓練では、情報の収集伝達、避難・誘導、初期消火、応急救護、地震体験等、実践的な対応を経験することにより、一人ひとりが災害発生時の対応策を身に付けることができます。

国や地方公共団体では、毎年9月1日の「防災の日」や8月30日から9月5日までの「防災週間」、11月5日の「津波防災の日」を中心に防災訓練を行いますので、積極的に参加し、“いざ”という時に対応できる力を身に付けましょう。

防災訓練に参加して習得しよう！

<消火器の使用方法>

消火器は初期消火に有効です。
正しい使用方法を覚えましょう！



<安否情報の確認方法>

例えば『災害伝言ダイヤル171』
毎月1、15日や防災週間などで体験利用できるので使い方を確認しましょう！



<応急救護の方法>

応急救護の方法について学びましょう！

消防署等で行われる救命講習会では軽いけがの処置をはじめAEDを使用した心肺蘇生法について習得できます。



<地域住民等で協力して行う救出方法を学ぶ>

大規模災害時には消防車や救急車がすぐに現場に向かえない場合もあります。地域のみんで協力し合って救出できるようにしましょう！





“いざ”というときに備えよう！

<非常持ち出し品の準備>

すぐに持ち出せるように「非常持ち出し品」を準備しましょう！

玄関や寝室など持ち出しやすいところに置いておきましょう！

実際の避難の際は、火災を防ぐためガスの元栓を閉め、電気のブレーカーを切ることが重要です。

非常持ち出し品 *チェック!*

- 携帯用飲料水
- 食品 (カップめん、缶詰、ビスケット、チョコレートなど)
- 貴重品 (現金簿帳、印鑑、現金など)
- 救急用品
- ヘルメット、防災ずきん
- 軍手 (厚手の手袋)
- 懐中電灯
- 衣類 (セーター、ジャンパー類)
- 下着
- 毛布
- 携帯ラジオ・予備電池
- マッチ、ろうそく (水にぬれられないようにビニールでくるむ)
- 使い捨てカイロ
- ウェットティッシュ
- 筆記用具 (ノート、えんぴつなど)

非常持ち出し品 *チェック!*

小さなお子さんのいる家庭は

- ミルク
- 紙おむつ
- ほ乳びん

※「非常持ち出し品」、「非常備蓄品」とも年に一度はチェックして、新しいものと交換しましょう。

<非常備蓄品の準備>

避難後の生活を支える「非常備蓄品」を準備しましょう！ (目安として最低限3日間程度の水や食料品)

自分や家族にとって必要なものを考えて準備しましょう！

非常備蓄品(一人分) *チェック!*

- 飲料水 9リットル (3リットル×3日分)
- 食糧 (フルファーム) 4~5日分
- ビスケット 1~2箱
- 缶詰 2~3缶
- 乾パン 1~2缶
- 缶詰 2~3缶
- 下着 2~3組
- 衣類 スウェット上下、セーター、フリースなど
- 携帯トイレ
- トイレシートペーパー

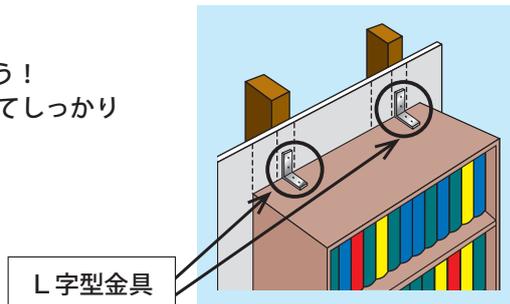
※一人暮らし3日分は用意してください。

※家族構成、住居や地域の特性によって必要となるものは異なります。

<家具等の転倒、落下防止>

自分たちで事前に備えとしてできることを実行しましょう！

地震によって倒れることのないようL字型金具等を使ってしっかりとめましょう！



この他にも『総務省消防庁—生活密着情報—地震などの災害に備えて』に様々な情報が掲載されていますので、是非参考にしてください。

<リンク先> <http://www.fdma.go.jp/html/life/>

地域で行われる防災訓練へは、自分の住んでいる地域の方々と共に“いざという時どうするか”という心構えで参加し、家族みんなで防災について話し合しましょう。

問い合わせ先

消防庁国民保護防災部・防災課 川久保
TEL: 03-5253-7525